

共に考え 共に創る 「わがまち協働大賞」の選考方法について

○応募件数50件を想定

第1次選考 9月7日(月)～9月12日(金)

○事務局による応募要件の確認

第2次選考 9月25日(金)

○東近江市市民協働推進委員会による書類選考

方法：

- 1 委員を3チーム(5人ずつ)に分ける。
- 2 委員は、チームの事例(15～16事例)を担当し、選考する。9月23日(水・祝)までに別紙の2次選考シートにて採点を行い、事業へのコメントを記入する。(ただし、委員が運営等に関わっている団体の選考には関与できないものとする。選考に関与できない団体がある場合は2次選考シートに理由をチェックする。)
- 3 事務局は、委員の2次選考シートを集め、チームごとの点数の集計、コメントをまとめ一覧表にする。一覧表は、合計点数の高いものから順に並べる。
*選考を辞退した委員の点数は他の委員の合計の平均点とする。
- 4 21事例(各チームの上位7事例×3チーム)について最終選考候補として、市民協働推進委員会で一覧表をもとに協議し、最終選考候補7件以内(ヒアリング可能な数)を選ぶ。

●採点の基準について

視点	ポイント	配点
協働性	協働の良さが発揮されている。	10点
着眼点、インパクト	独自性があり、地域課題を見据えた事業である	10点
協働事業の成果	協働で実施した成果があがっている。	5点
波及性・継続性	将来幅広く、広がっていく可能性を感じる事業である。	5点
発展性	今後の事業展開に対して、可能性を感じる事業である。	10点
総合	協働大賞にふさわしいかどうか。	20点

■ヒアリング 10月1日(木)～10月30日(金)

最終選考候補 7件を想定

- 1 委員を7チーム（2人ずつ）に分ける。＊委員長を除く（チーム分けは都合のあわせやすさ等で分ける）
- 2 1チームで1事例を担当してもらう。事務局1名と共に事例のヒアリングを実施する。
- 3 委員は担当の事例についてヒアリングを実施する。別紙のヒアリングシートにチームで相談して、1事例1枚を記入する。
- 4 事務局はヒアリング結果をまとめて最終選考用資料を作成する。

■市民投票 11月2日（月）～11月24日（火）

最終候補 7件を想定

- ・投票方法：2次選考を通過した団体ごとに約2分のフォトムービーと約30秒の代表者のコメントを収録した映像または事業の紹介ボード（場所の状況によって対応可能な方式）を事務局が作成し、アンケート形式で選んでもらう。
応援したい事業に投票する。（1人1票）
- ・投票場所：東近江市役所新館1階ロビー（＊開庁日のみ）
ショッピングプラザアピア情報プラザ（＊11/14～24）、各地区図書館など
インターネット投票（まちづくりネット東近江HP）も同時に行う。
11/6 「わくわくこらぼ村」の応募団体説明会会場にて投票してもらう。
- ・選考の際の反映方法：市民投票全体を選考委員1名分の点数の持ち分とする。

最終選考 11月26日（木）

○東近江市市民協働推進委員会による書類選考

- 1 市民投票結果について事務局より報告
- 2 ヒアリング内容等について、担当した委員から報告
- 3 ヒアリング・市民投票をもとに協議して賞を決める。
- 4 副賞について、事務局案をもとにマッチングを検討

■スケジュール

9月4日（金）協働大賞募集締切

9月7日（月）～9月12日（金） 第1次選考（事務局）
応募要件の確認

9月15日（火）または16日（水） エントリーシートを委員に送付（郵送）
（事務局→委員）

9月17日（木）～22日（火） 推進委員による採点
（2次選考シートに採点・コメント記入）

9月23日（水）必着 各委員の選考シートを事務局に送付（メール）
（委員→事務局へ）

9月24日（木） 事務局で選考結果を一覧表にまとめ

9月25日（金） 2次選考（市民協働推進委員会）

10月1日（木）～10月30日（金）現地ヒアリング

11月2日（月）～11月24日（火）市民投票期間

11月26日（木）最終選考（市民協働推進委員会）

12月12日（土）表彰式「わくわくこらぼ村」

2次選考 選考シート

資料2

審査委員名	
-------	--

番号	
事業名	

- ・1事業につき、採点を行ってください。
- ・採点できない場合には、以下の採点できない理由のところのいずれかに○をつけてください。
- ・採点の合計点は、自動で入力できるようになっています。

視点	注 釈	点 数(満点)	採 点
協働性	協働の良さが発揮されている。	10点	
着眼点・インパクト	独自性があり、地域課題を見据えた事業である。	10点	
協働事業の成果	協働で実施した成果があがっている。	5点	
波及性・継続性	将来幅広く活用され、広がっていく可能性を感じる事業である。	5点	
発展性	今後の事業展開に対して、可能性を感じる事業である。	10点	
総合	大賞にふさわしいかどうか。	20点	
事業へのコメント (50文字程度)		合計(60点満点)	0 /60点
		採点できない理由	
		<input type="checkbox"/> 運営に関わりがある。 <input type="checkbox"/> 事業のコーディネーターを努めた。 <input type="checkbox"/> その他	

「共に考え、共に創る わがまち協働大賞」採点基準表

資料3

採点を行うにあたり、以下の基準を踏まえながら、公平に採点を行ってください。
それぞれの項目の満点までの点数(整数)をつけてください。採点基準は、あくまで基準です。これに基づいて加点や減点を考えてください。

採点項目		採点基準		点数(満点)
協働性	協働の良さが発揮されている。	それぞれの役割をみんなが理解して進めている。	10点	10点
		それぞれの役割を担当者のみが理解し、進めている。	5点	
		それぞれの役割の理解が不十分である。	0点	
着眼点・インパクト	独自性があり、地域課題を見据えた事業である。	独自性があり、地域課題を見据えている。	10点	10点
		独自性はないが、地域課題を見据えている。または、地域の課題への視点が弱いが独自性がある。	5点	
		独自性もなく、地域課題を見据えていない。	0点	
協働事業の成果	協働で実施した成果があがっている。	協働であるが故の事業目的が達成できている。	5点	5点
		協働であるが故の事業目的を達成しようとする努力が見られる。	3点	
		協働であるが故の事業目的を達成できていない。	0点	
波及性・継続性	将来幅広く、広がっていく可能性を感じる事業である。	地域への広がりの可能性が感じられ、将来を見据えた手だても考えられている。	5点	5点
		地域への広がりや、感じられないが、将来を見据えた手だてを考えられている。または、将来を見据えた手だてが考えられていないが、地域への広がりやの可能性が感じられる。	3点	
		地域への広がりやの可能性が感じられず、将来を見据えた手だても考えられていない。	0点	
発展性	今後の事業展開に対して、可能性を感じる事業である。	今後の事業展開に対して意欲的に取り組もうとする具体的な行動が見られる。	10点	10点
		今後の事業展開に対して意欲的に取り組もうとする努力が見られる。	5点	
		今後の事業展開に対して意欲を感じることができない。	0点	
総合	大賞にふさわしいかどうか。	選考委員から見て、大賞にふさわしい事例をどうかを総合的に判断する。	20点	20点

東近江市「共に考え、共に創る」わがまち協働大賞
候補ヒアリングシート

整理
番号

日時		場所	
協働事業名			
団体名			
代表者名		対応者名	
団体住所			
連絡先	TEL		FAX
	MAIL		

聞き取り項目	聞き取り内容
協働の形態	1 市民同士の協働 2 市民と行政の協働（①補助・助成 ②後援 ③共催 ④実行委員会 ⑤委託 ⑥指定管理 ⑦事業協力 ⑧情報提供 ⑨その他（具体的に ）） 3 行政内部での横断的な連携 4 その他（具体的に ）
協働事業に取り組むきっかけ	（協働事業に取り組むきっかけとなったことや動機についてご記入ください。）
協働事業の役割分担	（各事業者が果たした役割についてご記入ください。役割分担を含め協働関係の図示も可）

聞き取り項目	聞き取り内容
協働による事業の進め方	(どのように協働による事業を進めたか、ポイントとなることを中心にご記入ください。)
協働による効果	(協働することによって、どのような成果を上げることができたか。)
課題	(協働事業を実施する中で課題となったこと、または今後協働事業を進めていく上で課題となること。)
今後の展望	(事業を今後どう発展・継続させていこうと考えているか。)
聞き取った人のコメント	

協働事例集の発行について（案）

1 現状の問題点・背景など

東近江市では、市民と行政が協働でまちづくりに取り組むためのルールを定める「東近江市協働のまちづくり条例（平成26年4月1日施行）」が市民参加で作成され、議会において制定されました。

条例に基づき、協働によるまちづくりの推進を実効性あるものにし、総合的・計画的に推進するため「市民協働推進計画」を策定し取り組みを進めていますが、市民や職員の協働に対する理解と意識がまだまだ不足しています。多くの具体的な協働の事例を通して、市民や職員の気づきから自らの行動につなげることが求められています。

2 事例集発行の目的

地域の課題解決に向けて協働で取り組んでいる優良事例を市民及び職員に紹介することで、本市における協働の取り組みをより充実させることを目的とします。

事例集を参考に、新たに協働に取り組む市民や職員が増えることを目指します。

3 コンセプト

「共に考え、共に創るわがまち協働大賞」に応募のあった事例を紹介するとともに、事業概要や実施の経緯、役割分担、事業の進め方、効果といったポイントを具体的に示すことで、市民や職員が協働事業の進め方について具体的なイメージを持てるようにする。

4 内容の概要

- ①事業概要、実施の経緯
- ②役割分担
- ③事業の進め方
- ④協働による効果

5 発行スケジュール

協働大賞の選考後以降編集作業

H28.3月発行予定

6 発行者

市民協働推進委員会、NPO 法人まちづくりネット東近江、東近江市

（参考：計画の中の位置付け） 「東近江市市民協働推進計画」P19

基本施策①人づくりと推進体制

2 推進体制の整備

市民協働推進委員会の設置

- ・市民協働事例集の作成および報告会

協働ラウンドテーブルについて

【会議の目的】

- 経緯 協働ラウンドテーブルについて、協働ラウンドテーブル運営委員会の中で3つのテーマ別に各部会に分かれてラウンドテーブルの開催についてミーティング等が行われている。
- 目的 各部会間の情報共有と、実際にラウンドテーブルの開催を検討した中に出てきた課題をもとに市民協働推進委員会の中で、ラウンドテーブルの具体的なしくみについて議論を深める。

【会議内容】

■報告

各部会の会議の開催状況と今後の予定（各部会より情報提供）

【福祉部会】

【コミュニティ・産業部会】

【若者部会】

■議論

テーマ：「10年後をめざすラウンドテーブル」のかたちとは

ラウンドテーブルの持ち方、運営方法など課題になることについて（意見交換）

○ポイント

- 1 めざすラウンドテーブルのイメージ
- 2 協働サポーターについて
 - ・協働サポーターの役割とは
 - ・協働サポーターに求められるスキルとは
 - ・協働サポーターを育成するためにどんな研修が必要か
- 3 テーマ設定の仕方について
- 4 開催の呼びかけや広報について
- 5 事務局的な役割について
- 6 情報共有の方法について

東近江市のラウンドテーブルの在り方について(案) 資料7

協働サポーターを設置する

【協働サポーターの役割】

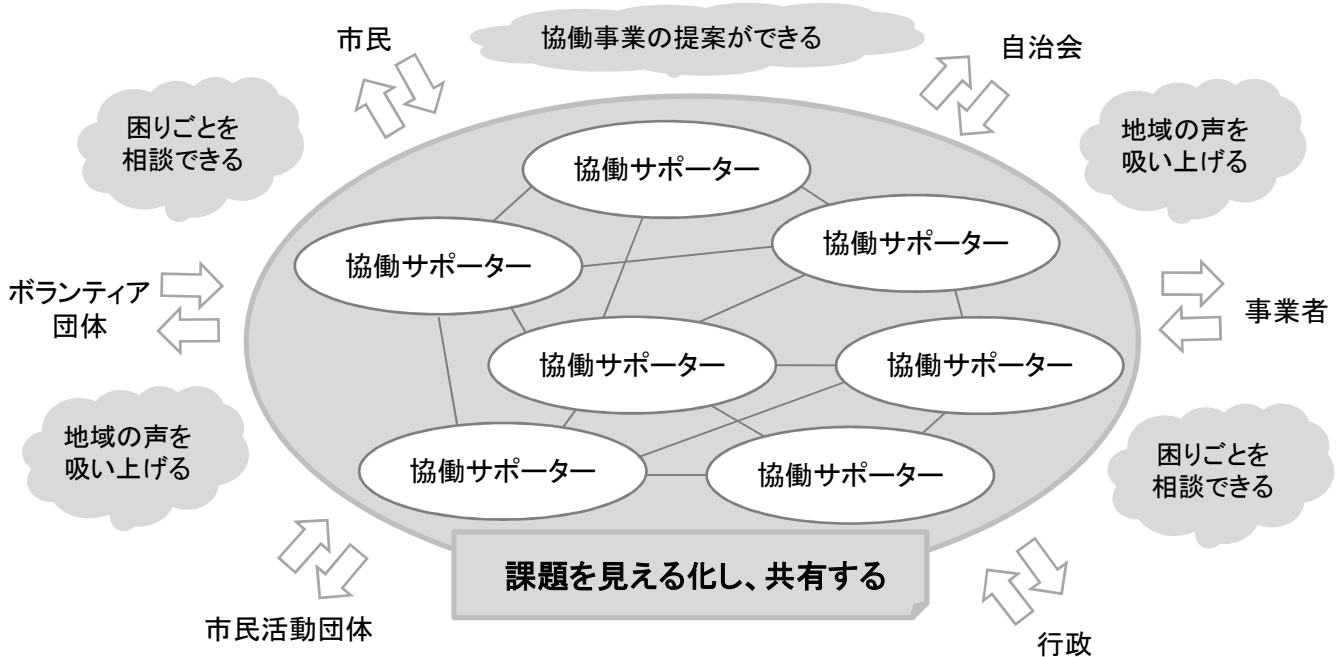
- ①市民の声(困りごと、地域課題)の報告
- ②協働ラウンドテーブルの開催の報告
- ③協働ラウンドテーブルの結果の報告

【協働サポーターへの支援】

- ①研修及び情報提供
- ②協働ラウンドテーブル開催に向けての支援
(人の紹介、進行役の派遣等)
- ③その他必要な支援

①協働サポーターが地域課題を把握及び共有する

※地域の課題をストックしていき、ネットワーク内で見える化する。

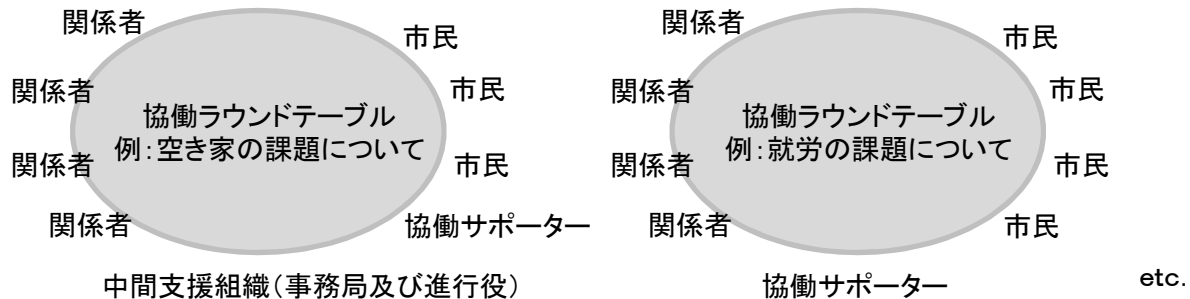


②地域で課題となっているテーマを設定し、協働ラウンドテーブルで話し合う

※関係者や興味のある人が集まって、解決策を話し合う(会議は事前公表)。

※地域で自発的に協働ラウンドテーブルが開催されるのが理想。

※行政が入っている必要はない。



③結果の公表及び解決策(協働事業や各種連携等)の実施

※プロセス及び最終結果を公表。

※解決策(協働事業や各種連携)の実施。

協働ラウンドテーブルの開催や結果についても事務局に報告し、データベース化し、共有できるようにする。

2015.8.8

東近江デザイン・カレッジまちなかキャンパス プレワーク

まちなかワークショップ

八日市駅前周辺のにぎわいって何だろう？

商店街の役割は何だろう？

このたび、滋賀県立大学では「地(知)の拠点整備事業 (COC 事業)」の一環において、東近江市および八日市地区中心市街地に関わる各団体と協力し、中心市街地のあり方を考え地域人材育成に取り組む「東近江デザイン・カレッジ まちなかキャンパス」の設立を準備しています。

設立を前にしたプレワークとして、本日の「まちなかワークショップ」を開催します。

みなさんの商店街や駅前周辺地への声やアイデアをぜひお聞かせください。

本日のプログラム

第 1 部 「みんなの構想あつめ」 11:00～13:30

第 2 部 「わたしたちが描く商店街」 14:30～15:50

第 2 部のすすめかた

14:30 開会

滋賀県立大学「地(知)の拠点整備事業」の紹介

東近江市協働ラウンドテーブル運営委員会の紹介

14:45 まちなかワークショップ

第 1 部で集まったコメントや、商店街の様子を見てイメージをふくらませよう！

① (付箋に書いて紹介しよう) 忘れえぬ「商店街体験」

② (意見をまとめよう) 商店街が “こうなったらいいな” & “そのためには?????”

15:40 考えたことのお披露目

15:50 閉会

主 催：滋賀県立大学・東近江市

